

I 令和3年度の重点政策

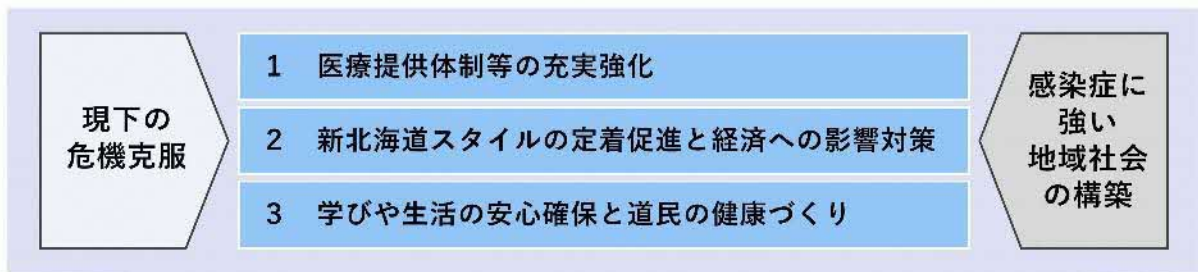
1 「命と暮らしを守り、未来を切り拓く」予算

基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化する中、「道民の命と暮らしを守る」ため、感染症への対応に最優先で取り組み、コロナ禍においても、誰もが将来に希望をもって安心して暮らしていける地域社会の構築につなげていく。

その上で、コロナ禍において顕在化した都市一極集中への懸念やサプライチェーンの再編、さらには、デジタル化や脱炭素化など、情勢変化や社会変革の兆しを的確に捉え、「ピンチをチャンスに」「ハンディを強みに」「強みを成長エンジンに」という視点から、ポストコロナを見据えた本道の新たな未来を切り拓くための起点となる取組を推進する。

I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築 最優先で取り組む3つの政策

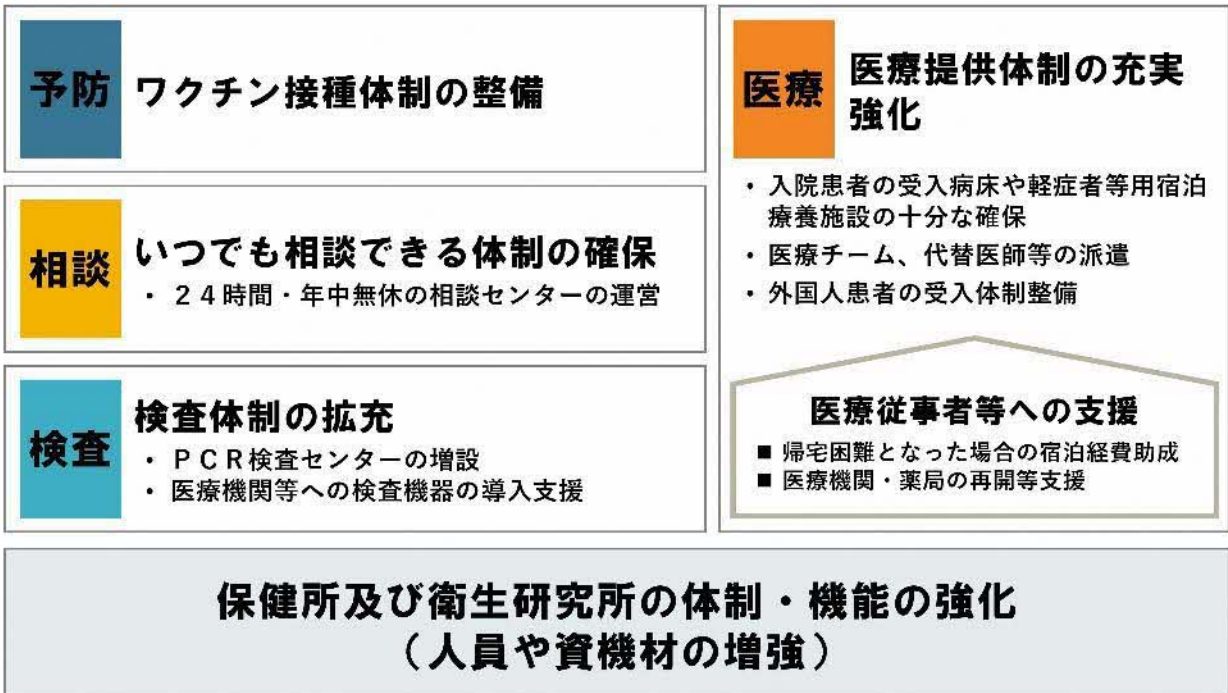


II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり 3つの視点と9つの政策

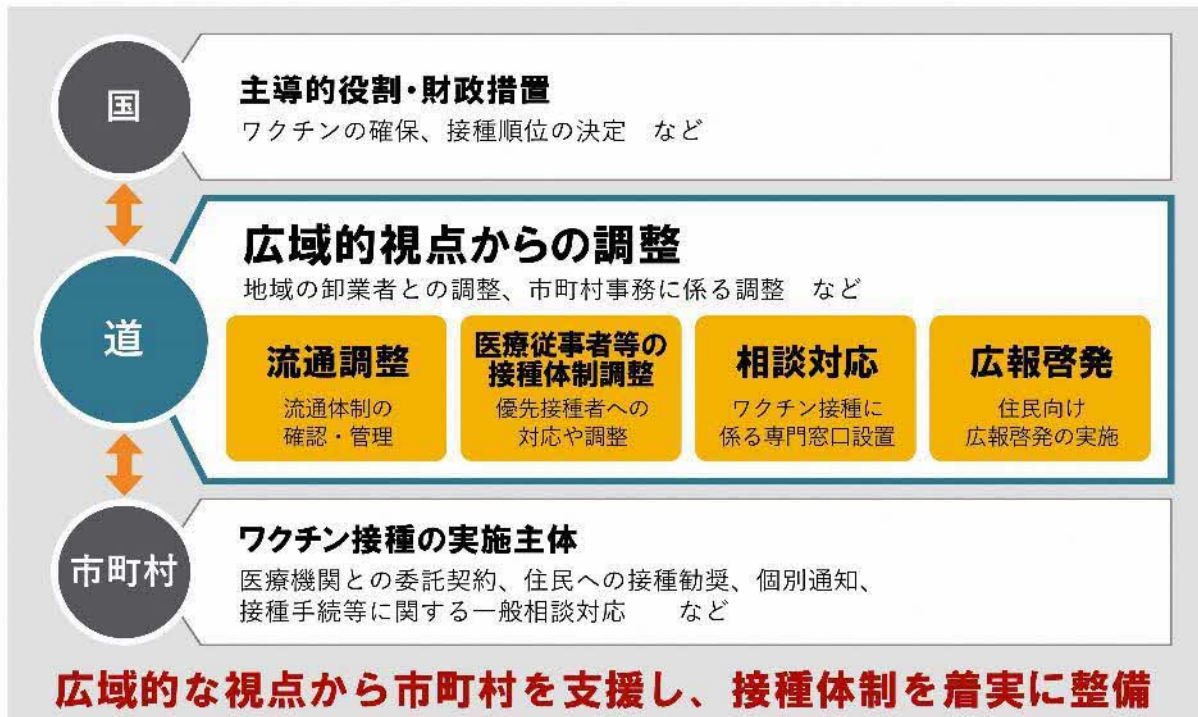


I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

I-1 医療提供体制等の充実強化



ワクチン接種体制の整備



I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

I-2 新北海道スタイルの定着促進と経済への影響対策

新北海道スタイルの定着促進

- ・新北海道スタイル実践店舗等の可視化
- ・行動変容を促す広報・PR
- ・学校や道立施設等での徹底した感染拡大防止対策



経済への影響対策

事業継続支援

融資等による資金繰り支援

- ・日本金融公庫の資本性劣後ローンとの協調融資制度創設
- ・無利子・無担保融資の上限額引上げ
(R3.3月末まで保証申込・5月末まで融資実行)

感染防止・事業継続に取り組む事業者への支援

- ・時短・外出自粛等により影響を受けた事業者への支援
- ・時短要請に備えた協力支援金の確保
- ・商店街等が実施する感染防止対策・販売促進を支援
- ・企業等におけるテレワークの導入支援
- ・文化芸術活動の再開・継続等の支援

事業再生・承継支援

- ・全道6圏域にコーディネーターを配置
- ・「北のふるさと事業承継支援ファンド」による支援
(投資上限3千万円)

就業機会の確保

離職者等への支援

- ・非正規雇用労働者・学卒未就職者等の就職促進
- ・ジョブカフェのカウンセリング体制強化

人手不足業種への労働移動の促進

- ・異業種からの転職者を雇用した企業、転職者双方へ奨励金を支給

企業への就業受入支援

- ・アドバイザーの派遣やセミナーの開催
- ・海外からの人材受入に伴う待機費用の助成

感染防止・事業継続に取り組む事業者への支援

事業継続への懸念

- ・消費の落ち込みによる売上げ減少
- ・感染防止対策による新たな経費の発生
- ・テレワーク導入の資金やノウハウの不足

時短・外出自粛等により影響を受けた事業者支援

時短・外出自粛等の影響により、売上が減少した事業者に対し一時金を支給

法人：20万円 個人事業者等：10万円

商店街等の販売促進支援

商店街等が実施する巣ごもり需要等に対応した販売促進を支援

補助率 3/4 上限100万円

テレワークの新規導入・実施を支援

- ・システム等の導入
- ・雇用管理改善のための研修やコンサルティング

国

補助率30% / 上限100万円

上乗せ

道

補助率20% / 上限65万円

(※一定の目標を達成した場合35%加算)

新北海道スタイルに対応したビジネス継続をサポート

I. 現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

I-3 学びや生活の安心確保と道民の健康づくり

<p>学び 「学びをとめない」環境の整備</p> <p>■ 学びの保障と心のケア</p> <ul style="list-style-type: none">・奨学給付金の支給・学習指導員等の配置・スクールカウンセラー等による心のケア 	<p>生活 暮らしの安全・安心の確保</p> <p>■ 「生活」を守る</p> <ul style="list-style-type: none">・生活基盤が脆弱な方々へのセーフティネット(生活福祉資金・ひとり親家庭への給付金の支給) <p>■ 「命」と「こころ」を守る</p> <ul style="list-style-type: none">・差別や偏見、誹謗中傷など人権侵害の防止・DVや性暴力、児童虐待などへの対応強化 
<p>健康 感染症の重症化リスクの低減にもつながる道民の健康づくり</p> <p>■ 生涯を通じた健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・生活習慣の改善などを推進 <p>■ 高齢者や子どもの活動促進</p> <ul style="list-style-type: none">・自宅のできる介護予防の推進・子どもの望ましい生活習慣や体力向上支援 	

暮らしの安全・安心の確保

▶ **生活福祉資金の貸付（特例延長及び再貸付）**

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少等により生活に困窮している世帯を対象に生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)の特例貸付及び総合支援資金の再貸付を実施

令和2年4月貸付開始（緊急対策第1～3弾）

12月末現在
計 53,807件（約154億円）の貸付を実施

申請受付期限の延長及び再貸付を実施

（申請受付期限：令和3年3月末）

▶ **ひとり親家庭への給付金（再支給）**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得のひとり親世帯を支援

令和2年8月支給開始（緊急対策第4弾）

12月末現在
計 9,751件（約6億円）を支給

基本給付を受給された方々に再支給を実施

（申請受付期限：令和3年2月末）

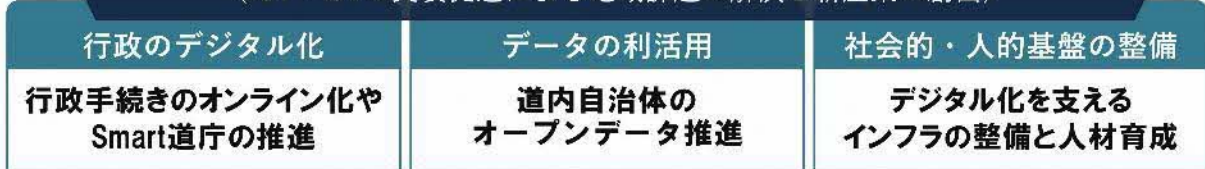
II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-1 デジタル化の推進による「北海道Society5.0」の実現



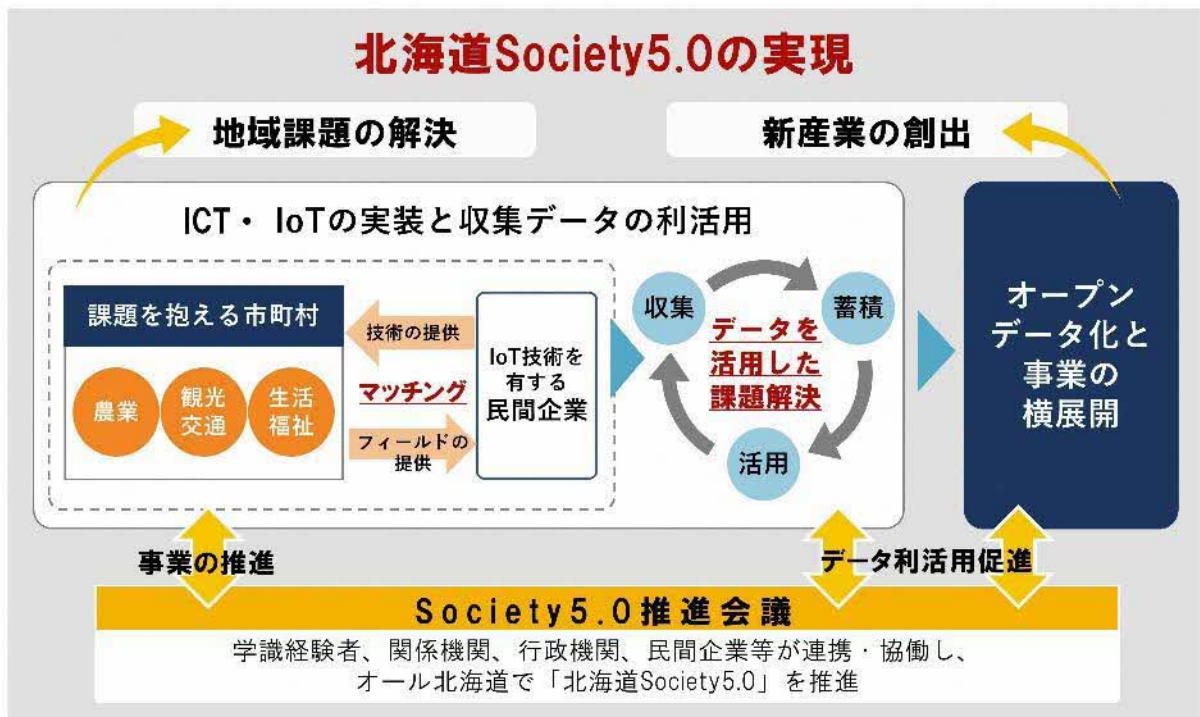
オール北海道による「Society5.0」の実現

(ICT・IoTの実装促進による地域課題の解決と新産業の創出)



デジタル化で「広域分散」「距離」のハンディを強みに転換

地域におけるICT・IoTの実装促進



II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-2 多様な主体との連携・協働による企業や人材の誘致



北 エールを北のチカラに。

ほっかいどう応援団会議のネットワークの活用



北海道型ワーケーションの推進



II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-3 本道の特徴を活かしたカーボンニュートラルへの挑戦

北海道地球温暖化対策推進計画

北海道省エネルギー・新エネルギー
促進行動計画

一体的に推進

脱炭素モデルの創出・普及

道民一人あたりのCO2
排出量が全国の約1.3倍

- 地域の脱炭素モデルの可視化
- 道職員の率先行動

省エネ・新エネの導入促進

全国有数の賦存量を誇る
再生可能エネルギー資源

- 地域の省エネ・新エネ導入の加速
- 水素関連の産業化促進
- 道有施設・住宅のCO2削減の取組推進

森林吸収源対策の推進

全国の22%を占める
森林資源を保有

- 森林資源の循環利用を確立



排出量の削減



吸収量の確保

脱炭素モデルの創出・普及

モデル地域掘り起こし (R3)

調査
分析

- 資源ポテンシャル
- 生活・移動手段の実態
- 障壁となる地域課題
- CO2排出原因分析

可視化

検討

- 分野・業種別の取組検討
- 活用可能な助成・融資制度

庁内推進体制の強化

北海道気候変動対策推進本部にPTを新設

- ・ゼロカーボンに向けた道内の状況分析と課題の可視化
- ・関連する計画、事業の一体的な実施に向けた検討など

モデル構築 (R4~)

取組の実践

協議会

市町村・事業者・金融機関等

全道展開

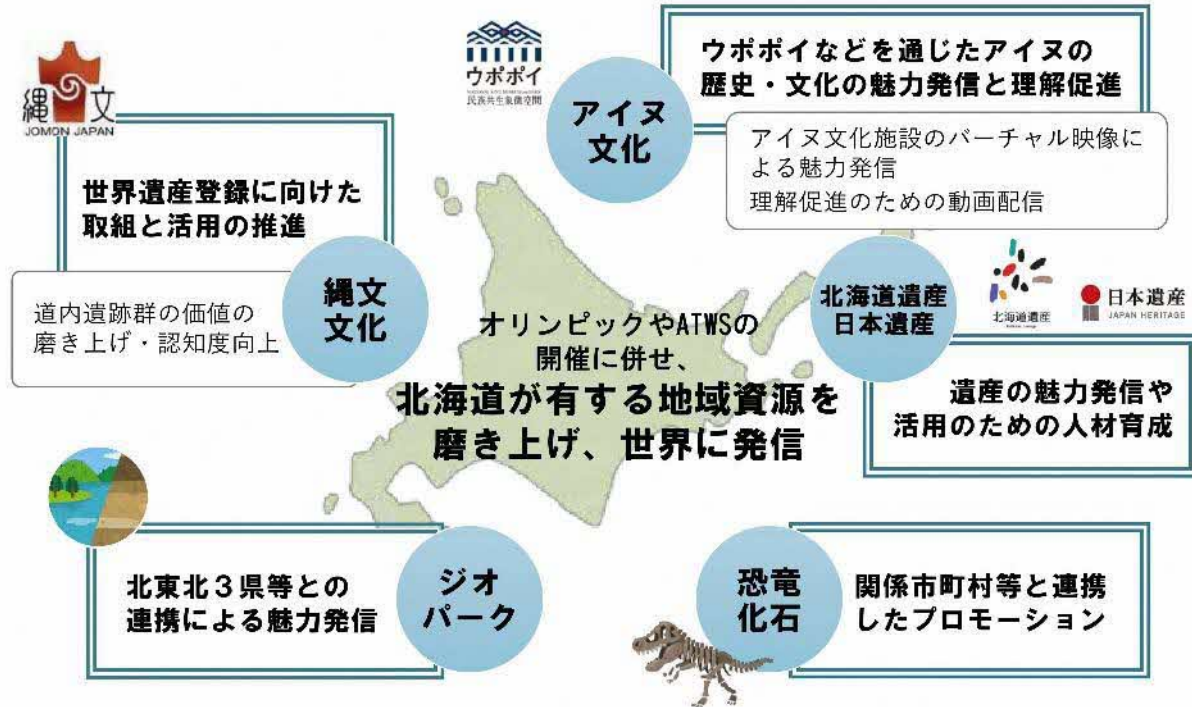
産学官金による支援



〈将来イメージ〉

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-4 アイヌ政策の推進と縄文文化など地域資源の魅力発信



縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組と活用の推進

北東北3県との連携による登録に向けた取組

R3(2021)年5月頃 イコモス による 勧告
6～7月頃 ユネスコ世界遺産委員会において
世界遺産登録の可否決定の見通し

- ・ 推薦書審査への対応
- ・ 普及啓発の実施

道内遺跡群の価値の磨き上げ・認知度向上

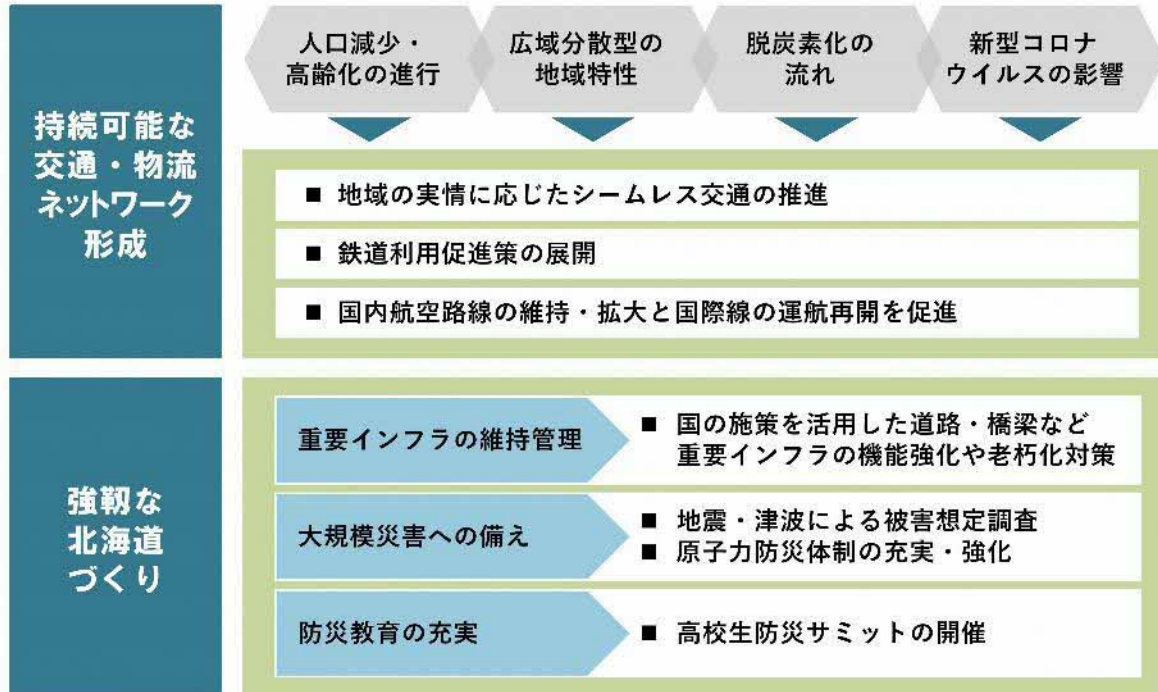
- ・ 共通キャッチフレーズを活用した気運醸成
- ・ 縄文文化に対する道民理解の推進、学校教育と連携した価値の継承
- ・ アドベンチャートラベル・ワールドサミットなどの機会を活かした魅力発信
- ・ 道内統一ガイドの養成など来訪者を受け入れる体制の整備

未来へつづく、
一万年ストーリー。

新たな「価値」を創造し地域に交流と賑わいを創出

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-5 持続可能な交通・物流ネットワークの形成と強靱な北海道づくり



地域の実情に応じたシームレス交通の推進

多様な主体の連携強化による、利便性が高くストレスのない公共交通の実現

広域的「公共交通計画」の策定促進

- 地域間を結ぶ広域交通と生活圏交通の有機的な連携による交通体系の最適化



事業者間の連携体制構築

- 「路線の運用」を事業者間で検討するため、会議体を設置するなど、連携体制の構築・強化を図る
- ダイヤの接続の見直し、共通フリー切符の造成、MaaSの活用など、利便性向上や生産性向上の取組を展開



先進地域での事業展開



先行事例の深化と
その全道展開

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-6 次代を担う人づくりと誰もが能力を発揮できる社会の実現



医療・福祉人材の確保と業務改善の推進

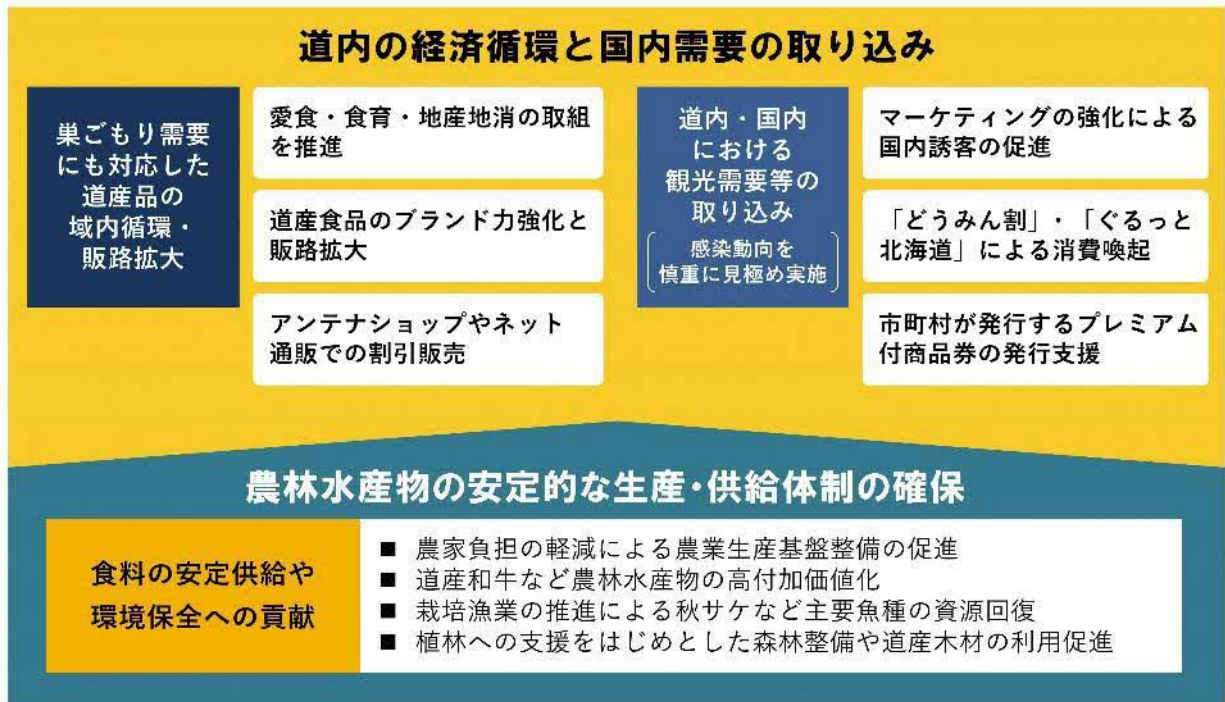
- 全国を上回るペースで進行する人口減少・少子高齢化
- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療・福祉ニーズが増大・多様化

人材の安定的な確保の一層の促進に向けた新たな取組

医師	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務環境改善の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 勤務医が働きやすい職場づくりに向けたICT等による業務改革の推進
看護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規養成者の確保、就業定着 ・ 地域や不足分野への誘導 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護職員養成修学資金の拡充
介護職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 労働環境・処遇改善 ・ 参入促進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 働きやすい介護職場の実現に向けた評価制度のモデル的運用
保育士	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就業や職場定着の促進 ・ 職員の資質向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育士等のキャリアアップによる保育人材確保

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-7 域内循環・国内需要の取り込みと力強い農林水産業の確立



アンテナショップやネット通販での道産品割引販売

実施期間：R3年5月～R4年2月

プレミアム付商品券の発行

利用可能店舗	どさんこプラザ（7店舗）・百貨店（37店舗）
対象商品	道産品
プレミアム率	40%（券面額7千円を5千円で販売）

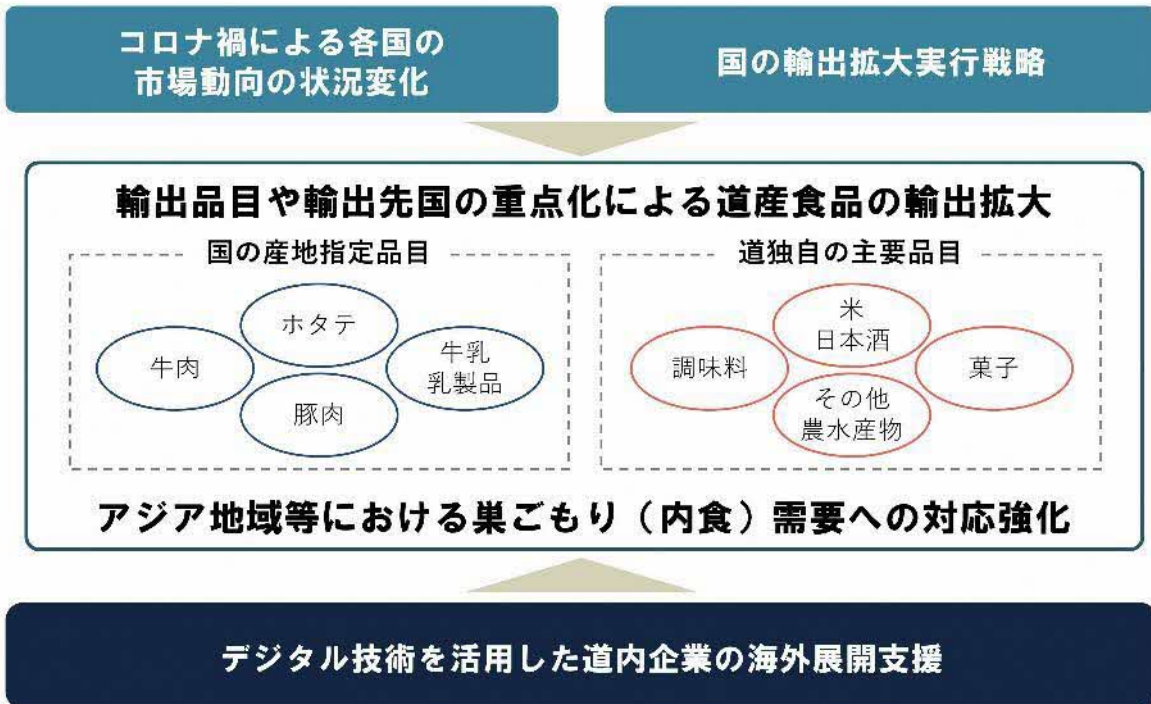
ネット通販等での割引販売

利用可能サイト	どさんこプラザ・百貨店の通販サイト等
対象商品	道産食品
割引率	30%

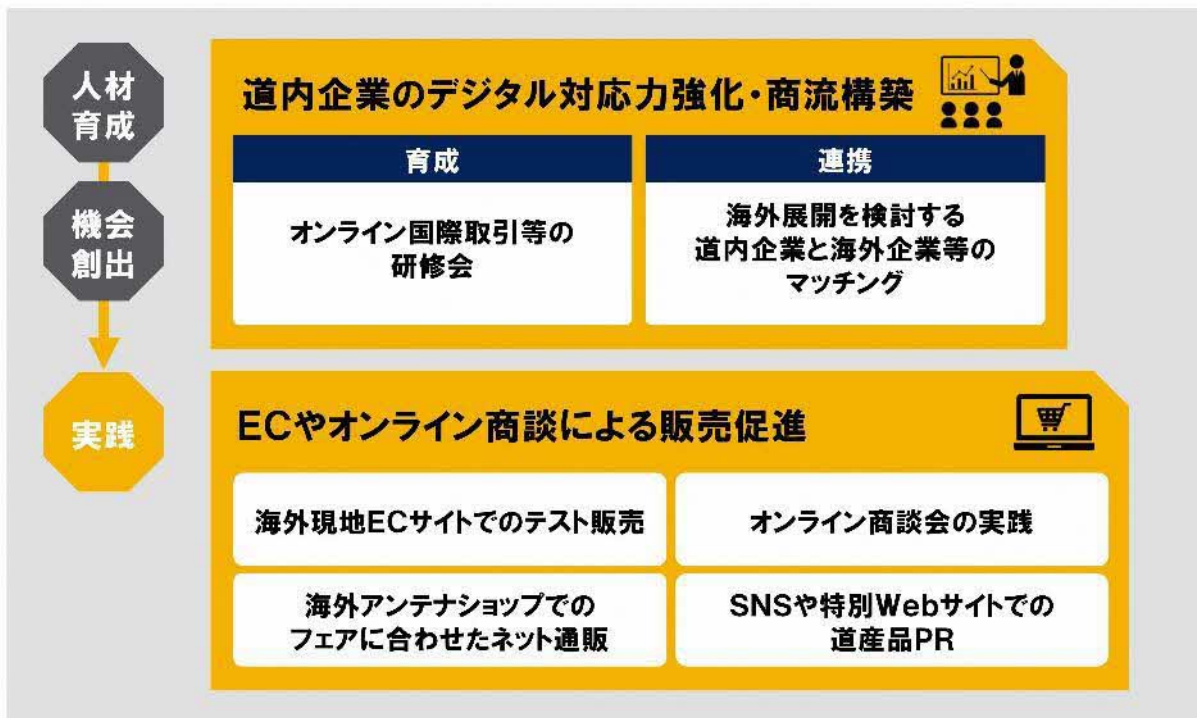
巣ごもり需要に対応し、道産品の国内販路を開拓・拡大

II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-8 道産食品の輸出拡大など新たな市場への展開



デジタル技術を活用した道内企業の海外展開支援



II. ポストコロナの新たな未来を切り拓く北海道づくり

II-9 徹底した感染防止対策による国際大会の受入れとインバウンドの再獲得

徹底した感染防止対策による東京2020オリンピック札幌開催の準備

来道者への
感染予防対策等
の情報提供選手団等の
受入体制整備安全で確実な
競技開催大会開催への
理解促進

魅力発信

取組の成果をレガシーに

感染防止対策の
ノウハウ蓄積安全・安心な
北海道のPR多言語化など
外国人対応の強化

海外との往来の本格再開を見据えたインバウンドの再獲得

感染状況に応じたプロモーション

北海道エアポートや
エアラインと連携した
「HOKKAIDO LOVE!」
プロモーション

観光資源の磨き上げ・受入体制整備

周遊観光の
利便性の向上アドベンチャー
トラベルの推進食と観光の
魅力発信

感染症対策・新北海道スタイルの徹底

感染防止対策を徹底したオリンピック競技の開催

聖火
リレー選手
受入魅力
発信競技
開催

感染防止対策の徹底

聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバル

- 公道やセレブレーション会場に応じた感染防止対策の徹底

ホストタウン等との連携による選手団の受入れ

- 感染防止対策マニュアルの策定
- 選手団や市町村職員等に対するスクリーニング検査の実施
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築

食・観光・文化など本道の魅力発信

- マスク着用や3密防止など「新北海道スタイル」の実践
- 入場者の検温や手指消毒など、イベント等での感染防止対策の徹底

大会組織委員会との連携による安全・安心な競技の開催

- 感染防止対策を徹底し、アスリート・大会関係者等を受入
- 関係機関と連携した医療提供体制の構築